

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

日中貿易を深化させ東南アジア貿易を拡大し、メーカー機能を持つ繊維資材商社としての強みを発揮し、アジアの繁栄と豊かな社会づくりに貢献する企業を目指す。

2 中長期の経営戦略

1. 日中・東南アジア貿易の拡大

日中貿易のパイオニア実績と東南アジアでの製造・販売拠点を基盤に、日本・中国・東南アジア各国間の架け橋となり貿易拡大を図る。

3. 環境配慮型素材の開発・提案

環境や人にやさしい商品・サービス提供と、環境配慮型・高付加価値素材の開発を強化し、子会社連携による製販一体営業を推進。

2. 自動車・ケミカル・環境分野の強化

重点事業である自動車、ケミカル、環境分野を基軸に既存商材の拡販と、新エネルギー・新テクノロジー分野の次世代商品開発・販路構築を目指す。

4. サプライチェーン構築と対応

EV化やモビリティ多様化により安定的なサプライチェーン確保が重要課題。コスト変動への柔軟な対応と、米国関税問題や地政学リスク対策を図る。

3 対処すべき課題

① 外部環境の不確実性対応

- ・原油価格上昇と為替変動に伴う物価上昇への対応
- ・中東地域の地政学リスク長期化への監視と対策
- ・米国関税問題への柔軟な対応

② 自動車業界の構造転換対応

- ・世界的なEV化とモビリティ多様化への対応
- ・部品・原材料の不足と価格高騰への対策
- ・物流コスト上昇への柔軟な対応

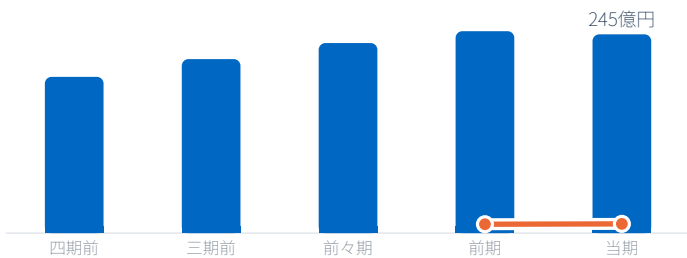
③ 新規事業領域の開拓

- ・新エネルギー・新テクノロジー分野での次世代商品開発
- ・中国市場ニーズに対応した新規商材の開拓
- ・アジアグローバルチェーンに対応した販路構築

面接で使えるポイント

- ・日中貿易パイオニアとしての実績を基盤に、東南アジアでの製造・販売拠点を活かしアジアの繁栄に貢献できる点。
- ・自動車、ケミカル、環境の重点事業を基軸に、EV化やモビリティ多様化といった業界転換期に対応する商品開発を推進している点。
- ・メーカー機能を持つユニークな繊維資材商社として、環境配慮型・高付加価値素材の開発と製販一体営業で社会貢献できる点。

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
245億円営業利益率
4.7%財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 40.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

